

第37回高知女子大学看護学会報告

高知女子大学看護学会企画委員長 長 戸 和 子

メインテーマ：未来の看護を創る人材を育てる教育

第37回高知女子大学看護学会が、去る平成23年7月9日（土）に、高知県立大学池キャンパスで開催された。県内外のさまざまな施設から、102名の卒業生・修了生、および看護職の皆様が参加があった。本年度、高知女子大学は、高知県立大学へ、そして男女共学へと変革を遂げ、これまでの卒業生・修了生が積み重ねてきた伝統を礎として、今改めて原点に立ち返り新たな歴史を生み出していく1年であった。このことを受けて、本学会の今年のテーマは、「未来の看護を創る人材を育てる教育」とした。午前は、高知女子大学看護学部同窓会との共催事業として、高知県立大学副学長の野嶋佐由美先生と同看護学部教授の藤田佐和先生を講師にお招きし、社会の動きを見据えた看護専門職者の教育の現状や課題についてご講演いただいた。

学会長挨拶

講演会に先立ち、松本女里学会長から、看護に期待される役割が年々増大する中、社会のニーズに応えることができる人材の育成は、私たちの責務であることから、今回の「未来の看護を創る人材を育てる教育」をテーマとして取り上げ、講演会を企画した旨、挨拶があった。講師の野嶋先生、藤田先生ともに、本学の卒業生であり、わが国の看護界で大きな役割を担い、看護基礎教育の枠組みを構築するとともに、看護専門教育の発展に貢献しておられることが紹介された。野嶋先生には、看護基礎教育、専門看護師教育における専門職を育成する教育について、日本看護系大学協議会でのご経験を踏まえてのご講演、そして、藤田先生には、がん看護専門看護師の教育に携わっておられるご経験から、高度実践看護師の教育に関するご講演をいただけるものとの期待が述べられた。



来賓挨拶

高知県看護協会会長 宮崎育子氏より、第37回高知女子大学看護学会開催のお祝いと今後の高知県の看護への期待が述べられた。

講演会：10:00～12:00

愛媛県立医療技術大学看護学科長 中西純子氏の座長のもと、講演会が進められた。

野嶋佐由美先生には、「Profession, Specialistを育成する看護学教育」、藤田佐和先生には、「多様化する社会のニーズに応える専門職の育成」というテーマで、それぞれ約50分ずつのご講演をいただいた。講演内容については、本学会誌をご参照いただきたい。



ワークショップ：13:30～15:30

例年、好評をいただいているワークショップを今回も下記の7つのテーマで企画、開催した。今回は、学会のメインテーマに合わせて、「教育」を共通のテーマとし、専門職に必要な能力や、各職種の専門職としてのキャリア発達を取り上げ、話題提供者と参加者の間で活発な意見交換が行われた。それぞれの概要は、本学会誌をご参照いただきたい。

ワークショップⅠ：

知識と実践をつなぐ教育

－臨床における学びと育ちへの支援－

コーディネーター：三浦かず子氏

(高知学園短期大学)

大川 宣容氏

(高知県立大学)

ワークショップⅡ：

基本から応用へつなぐ教育

－実践力を育てる教育の工夫－

コーディネーター：寺岡美千代氏

(高知医療センター)

瓜生 浩子氏

(高知県立大学)

ワークショップⅢ：

気づきから倫理的思考へつなぐ教育

－事例を用いたふり返りをとおして－

コーディネーター：竹崎久美子氏

(高知県立大学)

ワークショップⅣ：

看護職としての発達過程を支援する教育

－専門看護師への道－

コーディネーター：藤田 冬子氏

(高知県立大学)

福田 亜紀氏

(海辺の杜ホスピタル)

ワークショップⅤ：

保健師としての発達過程を支援する教育

コーディネーター：北村真由美氏

(高知市保健所)

石川 麻衣氏

(高知県立大学)

ワークショップⅥ：

養護教諭としての発達過程を支援する教育

コーディネーター：池添 志乃氏

(高知県立大学看護学部)

中尾 瑞香氏

(高知大学教育学部

附属小学校)

ワークショップⅦ：

大学教育をふり返る

－私たちが4年間で獲得したものを確かめよう！－

コーディネーター：山中 福子氏

(高知県立大学看護学部)

松本 鈴子氏

(高知県立大学看護学部)